

## 要 旨

試験委託者 環境庁

表 題 アクリル酸－２－ヒドロキシエチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号 NO1998－生19

### 試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドラインNo.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： アクリル酸－２－ヒドロキシエチル
- 2) 暴露方法： 半止水式（毎日、試験液の全量を交換）
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度： 対照区、4.8、2.2、1.0、0.48、0.22、0.10  
および0.048mg/L
- 6) 試験液量： 1容器（連）につき80ml
- 7) 連数： 1濃度区につき10連
- 8) 供試生物数： 10頭／濃度区（1連につき1頭）
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明／8時間暗
- 11) 被験物質の分析：HPLC法

### 結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度  
被験物質が設定濃度の±20%の範囲内であった。
- 2) 21日間の親ミジンコの50%致死濃度（LC50）：0.43mg/L  
（95%信頼区間：0.32mg/L～0.59mg/L）
- 3) 21日間の50%繁殖阻害濃度（EC50）：0.74mg/L  
（95%信頼区間：0.48mg/L～1.0mg/L）
- 4) 21日間の最大無作用濃度（NOEC）：0.48mg/L
- 5) 21日間の最小無作用濃度（LOEC）：1.0mg/L

訂正